

民生福祉常任委員会会議記録

- 1 日 時 令和6年6月12日(水) 午前9時54分から午前10時46分まで
- 2 場 所 第2委員会室
- 3 出席委員 茂木委員長、星野副委員長、鈴木、齋藤(育)、井上、戸部 各委員
- 4 欠席委員 なし
- 5 説明者 角田市民部長、田村市民協働課長、根岸環境課長
- 6 事務局 武井事務局長、大島議事係長
- 7 議 事

- (1) 市民部各課の所管事項報告・調査事項説明
- (2) 市民部所管事項に関する調査事項検討及び意見交換
- (3) 健康福祉部所管事項に関する調査事項検討及び意見交換
- (4) 今後の日程について
- (5) その他

8 会議の概要

- (1) 市民部各課の所管事項報告・調査事項説明

○委員長 それでは、次第(1)市民部各課の所管事項報告・調査事項説明を行う。
まず、市民協働課の所管に係る事項について説明願う。市民協働課長。

(田村市民協働課長 説明)

ア 市民協働課

・調査事項

- 1 令和6年6月15日開催予定の男女共同参画講演会の申込状況について
- 2 第1回男女共同参画連続講座の参加人数と内容について

○市民協働課長 調査事項1「令和6年6月15日開催予定の男女共同参画講演会の申込状況について」説明する。

資料1 ページを御覧いただきたい。

今月15日開催予定の男女共同参画講演会については、4月開催の常任委員会において御案内したとおり、ジャーナリスト・元AERA編集長の浜田敬子氏を招き、講演をしていただく予定である。配付資料の作成の都合上、申込状況は6月4日現在ということで47名と記載したが、その後、申込みがあり、現時点で51名となっている。

次に、調査事項2「第1回男女共同参画連続講座の参加人数と内容について」説明する。

参加人数は資料に記載のとおり37名である。また、内容については「沼田に住む外国人のことを知ろう～多文化共生社会実現のために～」という標題の下、城西大学の山口教授にコーディネーターを務めていただき、2011年に来日し、2014年に本市に転入、以来在住されているインドネシア国籍の人から話を伺った。仕事の状況や食事のこと、女性が身に付けるヒジャブのことや仲間とのスポーツについてなどが話題になるとともに他のインド

ネシア人から受けた困りごとなどの相談や対応、苦勞したことなど様々な話を聞くことができた。

説明は以上である。

○委員長 説明が終わった。

まず、調査事項1「令和6年6月15日開催予定の男女共同参画講演会の申込状況について」質疑はあるか。戸部委員。

○戸部委員 51名の参加者うち男女の割合はどうか。

○市民協働課長 申し訳ない。名簿が手元になく答えかねる。

○戸部委員 男女共同参画の会議なので、男女比がどのくらいかと思った。後ほど教えていただきたい。

○委員長 ほかに。井上委員。

○井上委員 申込者51名は継続的にこういった講演会に出席してくれている人か。新規の人が割合としてどのくらいいるか分かれば教えていただきたい。

○市民協働課長 同じ人が参加しているケースが多いと聞いている。この他にも連続講座があるが、興味を持って来てくださる人は例年同じであることが多いようである。

○井上委員 やはり想像のとおりであると感じる。興味を持って来てくれる人は同じくらいか、減っているか。感覚的なものでもいいので分かれば教えていただきたい。

○市民協働課長 ほぼ同じ顔ぶれである。減っているか増えているかということであるが、私は担当になってから2年目になるが、それほど変わりがないと考えている。

○井上委員 本当にどういう形でもこういうイベントをやると常に付きまとうことであるが新規の人がなかなか参加してくれないということである。何をやっても一緒である。それでもやはり新規の人が増えていかないといけないと思うので、その辺の取組など考えていることあれば教えていただきたい。

○市民協働課長 セミナーの実行委員会にも参加していただいているが、そういうところでどういうテーマにしたらいかなど、多様なテーマにも取り組むべきという考えもある。多くの皆さんに興味を持ってもらって、多くの皆さんに来ていただくような工夫を検討すべきと考えている。今後もどういうテーマ、どういうものに取り組めば、たくさんの人に興味を持ってもらえるかということ念頭に置きながら取り組んでいきたいと考えている。

○委員長 ほかに。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長 次に、調査事項2「第1回男女共同参画連続講座の参加人数と内容について」質疑はあるか。副委員長。

○副委員長 質疑というよりもこちらに参加した感想を含めてである。

ずっと男女共同参画の講座に参加している。最初は男女共同参画イコール人権であると思っていた。そこで改めて沼田市の存続に外国人の人たちが大切な存在であるということを知る中で、私たちが外国人の人たちに歩み寄らなければいけないということを強く感じた。その中で断食のこと、ヒジャブのことなどを聞いたがその中で嬉しかったことを一つだけ報告する。断食のときに、利根沼田吾妻の宗教の人たちに多目的ホールを貸出された

と聞いた。よかったと思った。それが感想である。また、外国人のことを何回もやらないと私たちも理解できないと思った。こういった企画をしていただきたいと思う。

○市民協働課長 よかったという総評をいただいたことについては感謝申し上げる。外国人をテーマとして取り組んだのはイコール人権ということで、人権の中に男女共同参画も恐らくあるのだろうと考えている。これだけ多くの外国人の人たちが市内に住んでいるということをなかなか知る機会がなかった。感想の中でどういうことをしているのかということを知ることができてよかったという意見もいただいている。企画政策課において国際交流協会の事務局を担当しており、相談窓口も設けている。チラシなども作成して市民課の窓口で配布しているということもある。市民協働課とするとこういうことを啓発・周知というようなイメージで男女共同参画、もしくは人権の関係で取り組んでいくということで継続してまいりたいと考えている。委員の皆様にもぜひとも参加いただければ幸いと思う。

○副委員長 もう一つ付け加えたい。私も参加して初めて知った。ちょうどパネラーになってくださった人の奥様は看護師の資格を持って、長年沼田市の健康・医療に関わってくれていて、パネラーの旦那さんも介護士ということで、既に私たちの生活に欠かせない存在であると思った。また、私自身がヒジャブという女性がかぶる物の名前も知らなかったぐらいだった。いろいろな種類があること、宗教によっていろいろ違うということであった。質問の中で偏見ではないのだが、理解不足があったのだと思った。そういったことで、沼田市にも貢献してくださっている人たちが悲しい思いをしないように私たちも気をつけなければいけないと思った。

○市民協働課長 質問の中で宗教の話に大分寄ってってしまったという印象がある。テーマがみんなで共にというようなイメージということで考えれば、もっと生活で困っていることみたいなことで皆さんに質問していただけたらありがたかったという反省もある。次回、取り組むときには、同じ人ではないかもしれないが、もう少し外国人の人たちが困っていることなど、日本人との共生をテーマとしてどういうふうに取り組むべきかみたいなことを皆さんに考えていただけるような内容に持っていったらと考えている。

○委員長 ほかに。井上委員。

○井上委員 中身的には多文化共生ということで企画政策課の内容に寄っていると思う。実施に当たって企画政策課との連携や調整はどのようにしたか伺いたい。

○市民協働課長 この講座は私と山口教授とで国際交流協会の担当者のところを尋ねたことがきっかけである。講座のパネラーでお越しいただいた人を紹介していただいた。実際に日本語を話すことができ、インドネシアの人たちの面倒をみているという話を聞いて、それでぜひということで紹介していただいて今回につながった経緯がある。国際交流協会、企画政策課とも連携して実現したということである。

○井上委員 自分が参加していないので中身については分からないが、今の話を聞いていて、やはり想定していた中身とは少し違う、興味のあるほうにいつってしまったのかなと感じた。連続講座でこのように理解を持ってやろうとなるとどうしても目的に沿って話を誘導する側にファシリテーターがいないと進みにくいという気がする。その辺のことで工夫しているところがあれば伺いたい。

○市民協働課長 導入の部分で山口教授から宗教の話であったり、ヒジャブのことであっ

たり、文化の説明などもあった。それが導入となって御本人から話を伺った。少し理解をしてもらってから御本人に講演をしていただくようなイメージだったのでそういう工夫はなされていたと思われる。

○委員長 ほかに。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長 なければ以上で市民協働課を終了する。

次に、環境課の所管に係る事項について説明願う。環境課長。

(根岸環境課長 説明)

イ 環境課

・調査事項

1 (仮称)平川小水力発電所建設事業の進捗状況と売電開始見込時期について

○環境課長 調査事項1「(仮称)平川小水力発電所建設事業の進捗状況と売電開始見込時期について」説明する。

まず、進捗状況については、工事全体の実施工程率は5月末現在で93.1%である。

参考として現在の各施設設備状況について説明する。

資料1を御覧いただきたい。右側下の設備から説明する。

まず、除塵機については、用水の流水中にある枯れ葉などの浮遊物等を除去し、発電用水車への流入を防ぐためのものである。

次に、分水槽については、既設の水路を流れる用水を発電用用水に分配する設備である。

次に、発電所である。施設内には既に電気・機械設備が設置され、左側の写真にある発電用水車も設置されている。

次に、左側上が放水路で発電に使用した用水を川に戻す水路となる。

施設設備の状況は以上である。

次に、売電開始見込時期について説明する。本年11月11日、工事完成後、さらに試運転や調整を行い、令和6年12月の発電を見込んでいます。

説明は以上である。

○委員長 説明が終わった。調査事項1「(仮称)平川小水力発電所建設事業の進捗状況と売電開始見込時期について」質疑はあるか。戸部委員。

○戸部委員 進捗率93.1%とのことである。もうほとんど仕上がっていると思うが、どのような工事が残っているのか。

○環境課長 発電所の塗装処理、そして外構工事や電気通信関係の工事を行い、最終的な工事用道路を撤去して工事終了となる。したがって、おおむね建設土木工事は終わり、仕上げの外構工事というような状況になっている。

○戸部委員 発電関係の工事はもうほとんど終了しているということではよろしいか。93%ということなので外構であるとか、塗装が残っているだけで本体工事はもう終わっているということではよろしいか。

○環境課長 具体的に申し上げる。

例えば写真にある一番右の下の除塵機である。こちらは取水工事の大きな工事が終わっており、あとはフェンスをまわす程度という状況になっている。発電所の建屋は、現在、屋根工事を行っており、屋根工事が終わると塗装となる。塗装が終わって足場が取れたら下の外構、ならしであるとかそういった部分になる。施設内の電気設備はもう大体据え付け終わっている。電気が供給されるのが8月頃になっているので、そこから試運転であるとか、そういった作業を行う。大きな工事はないというような状況である。

○戸部委員 もう8月になれば試運転をして……。完成検査は予定しているのか。

○環境課長 11月11日に完成を予定している。そこで完成検査を当然実施することになると思う。先ほど申し上げたように8月に東京電力から電気が供給されるので、その後、順次電気系統の調整であるとか、実際水がない状態での発電のシミュレーションをしたりとか、そういった作業が行われるかと思うので、それを11月までに行うような作業になるかと思う。

○委員長 私からよろしいか。

○副委員長 委員長。

○委員長 11月11日に工事が完成する。8月には電気がくるので、試運転などもできると思う。今年の12月から発電を開始するとの説明があった。11月の常任委員会は多分11月12日になるかと思う。その日に視察はできるか。

○環境課長 先ほど申し上げたとおり11月11日までが工期である。基本的には完成している状態となっているので見学いただけるかとは思っている。言っていて、調整させていただくような形がよろしいかと思う。また、完成前に見たいということであれば、事前に工事の関係、現場の作業と調整させていただいた上で対応するような形で考えさせていただきたいと思う。

○委員長 12月から発電を始めて今年度、令和6年度、3月末となるが売電見込みが2,000万円を超えるというような話を聞いている。ただこれは用水なので、夏には田んぼであったり農業用水路として使っていると思う。その辺の発電量は落ちるかと思う。年間としてどのくらいを見込んでいるか。

○環境課長 発電の見込額は委員長がおっしゃるとおり、今年度は2,000万円程度を見込んでいる。水の関係であるが、既存の農業用水路を活用させていただいているので、用水のキャパシティがあり、そこから農業用用水として必要な分を引いて、その残りを発電で使わせていただくような形になる。おっしゃるとおり、夏というか、農業を活発に行っている時期についてはどうしても取水量が減るといったようなことがある。それと冬季などは水が少ない時期、渇水期となる。どうしても通年で平らということにはならない。全体、トータルで見ると年間2,500メガワットアワーで、収入としては年間で8,000万円程度を見込んでいる。

○委員長 農業をやっている時期はその残りということで年間8,000万円程度の売電があるということである。今後、他にも小水力発電所の建設予定などはあるか。

○環境課長 現在はまずこの発電所を完成させていただきたいということで、この発電所に注力しているような形になっている。ただ、新たな小水力発電というのも可能であれば実施していきたいと思っているが、今まで調査した経過もあり、なかなか適切な場所はないというようなところであり、まだ研究しているような段階である。

○委員長 ほかに。井上委員。

○井上委員 今さらではあるが、場所的に片品川左岸断層が非常に近い場所なので、地震の対策などしているものはあるか。

○環境課長 特に地震を想定してはいない状態になっていると承知している。

○井上委員 もしも、地震などで電力が遮断されたとき、地域電力を賄うというような想定はしていないのか。

○環境課長 現状はそういった設備はないが、一応機械的には自立運転ということで外部電源がなくても運転できるような状況にはなっている。ただ、周りに電気を供給することになると多分新たに設備等の負担が発生するかと思うので、簡単にできるというようなことにはならないかと思う。

○委員長 ほかに。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長 なければ以上で環境課を終了する。

○市民協働課長 発言よろしいか。

○委員長 市民協働課長。

○市民協働課長 大変申し訳ない。お許しを得たので発言させていただく。先ほど戸部委員から質疑があった男女共同参画講演会の申込状況である。男女比については51名のうち男性20名、女性31名という結果だったことを報告させていただく。申し訳ない。

○委員長 各委員御承知願いたい。

(4) 今後の日程について

○委員長 次に、次第(4)今後の日程について、ア 次回の委員会について、事務局に説明させる。

(事務局書記 説明)

○委員長 それでは、次回の委員会については、事務局の説明のとおりとしたいと考えるが、よろしいか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○委員長 それでは、そのようにしたい。以上で、市民部各課の所管事項報告を終わる。

(市民部 退室)

(2) 市民部所管事項に関する調査事項検討及び意見交換

○委員長 それでは、次第(2)市民部所管事項に関する調査事項検討及び意見交換に入る。委員から調査事項はあるか。私からよろしいか。

○副委員長 委員長。

○委員長 小水力発電所が8月には電気が入るから見たければ見せるという説明だった。

早めに行くか、それとも11月11日の完成後、恐らく試運転をするのであろうからそのときに見に行くか。

○戸部委員 工事中よりも完成したときのほうがいいのではないか。

○齋藤委員 セレモニーなどあるのか。

○戸部委員 分からないが恐らくはあると思う。もう外構工事を残すぐらいであるということである。邪魔にはならないと思う。検査で指摘事項があればやり直しになる。もし行くのであれば、同じ利根地区でもあるし、コミュニティセンターも所管になる。

○委員長 利根地区コミュニティセンターは来月ぐらいには供用開始になるのか。

○事務局書記 工事が終わったとしても什器類を設置したり、書類を設置したりしてから供用開始を迎えることになる。

○戸部委員 そのことを聞いたらどうか。供用開始は9月と言っていた。

○副委員長 そのときに防災行政無線もできると聞いた。

○委員長 それでは供用開始までのスケジュールを確認するか。

○戸部委員 もうこの段階までできているので正式なスケジュールについてを聞いたらどうか。

○井上委員 進捗状況だけというのもどうかと思うので利根地区のコミュニティセンターとしての特長などがあればそれについても確認したい。

○戸部委員 そうだ。

○井上委員 地域の特性にあった施設であってほしい。

○委員長 多那の人たちにとっては白沢地区のコミュニティセンターのほうが行きやすい。

○戸部委員 久屋原町の人たちも同じである。

○委員長 ほかに。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長 ないようなので、以上で市民部所管事項に関する調査事項検討及び意見交換を終了する。

(3) 健康福祉部所管事項に関する調査事項検討及び意見交換

○委員長 次に、次第(3)健康福祉部所管事項に関する調査事項検討及び意見交換に入る。意見はあるか。井上委員。

○井上委員 ここ何年かの沼田市の自殺者数と自殺率の推移についてである。自分でも調べられていない。昔、利根沼田は多くて県内でもダントツでトップだった。最近の傾向としてどうなっているか。自殺者数とその比率である。確か10万人比率だったと思う。他の自治体と比較しながらその辺の推移が確認できればと思う。

○委員長 2年ぐらい前に一般質問をした。あのときはダントツで沼田市は多かった。

○井上委員 それで改善に向けた取組、何かしていることがあればそれを合わせて確認したい。

○戸部委員 そのときの答弁を見てみるといい。2年前にやった。

○井上委員 LINEなどで相談を受けられるようにするのはどうかということをやった

ことがある。「県のほうで……」みたいな話をされた。それほど多くの相談があるのであればむしろやらなければいけないのではないかと思った。自殺者数の推移と減少に向けた取組ということで確認できればと思う。

○委員長 よろしいか。

○副委員長 委員長。

○委員長 マイナンバーカードは大体みんな所有しているのか。結局80何%のままか。

○井上委員 そこからあまり動きは……。

○戸部委員 マイナ保険証に推移した数とかそれを聞いてみたい。

○委員長 今度は携帯電話のほうでもアプリで使うことができる。

○戸部委員 どのくらいマイナ保険証に推移したのか。

○井上委員 調査したのは何か月前だったか。

○戸部委員 7月なので中間でちょうどいい。

○委員長 それを聞いて、10月まで市としてどうするのかということを確認したい。ほかに。井上委員。

○井上委員 ソナタリ्यूに管内調査に行くので、市の障害者の就労支援の状況を確認できればと思う。管内調査をした後に常任委員会で説明してもらい流れになる。現地でいろいろ聞いてきて、どのようなテーマがあるかということになる。

○委員長 以前、特別支援学校に行ったが、実際に就職が決まった人は何人もいなかった。あそこで就職するための訓練をしているわけである。そういうのを市として何かしないと……。

○井上委員 あそこで力を入れていけば、そのあとの就労支援がまた違う形になってくる。高校を卒業した段階というのは市でも考えているところはあるかと思う。そういうことも含めて就労支援がどういう形になっているのかどうかを聞ければと思う。

○戸部委員 就労支援施設数も確認したい。先日も看板を見た。そういった就労や就労継続のための事業所との連携ということ。

○委員長 ほかに。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長 調査事項について事務局にまとめさせる。

(事務局書記 説明)

○委員長 よろしいか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○委員長 以上で健康福祉部所管事項に関する調査事項検討及び意見交換を終了する。

(4) 今後の日程について

○委員長 次に、(4) 今後の日程について、イ 今後のスケジュールについて事務局に説明させる。

(事務局書記 説明)

(5) その他

○委員長 次第(5) その他について、事務局から説明させる。

(事務局書記 説明)

○委員長 ほかに。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長 ないようなので、以上で本日の委員会を終了する。

(午前10時46分 終了)